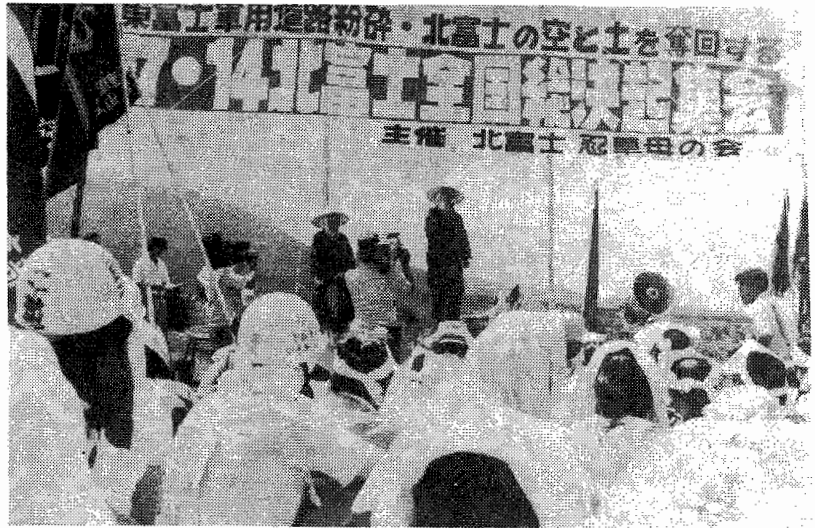


# 闘魂こめた「10年笠」を新調し、 意気高く50年目の闘いへ突入 7/14北富士で全国総決起集会



# 日刊 動労千葉

85.7.17

No. 1991

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

北富士・忍草母の会、入会組合主催による「東富士軍用道路粉碎・北富士の空と土を奪回する 7・14全国総決起集会」が、七月十四日、自衛隊北富士演習場内で開かれ、三里塚反対同盟、関西新空港反対同盟、動労千葉をはじめとする全国から千名を越す労・農・学・市民の結集のもとちとられた。5月17日の中曽根―山梨県当局による東富士軍用道路建設Ⅱ北富士闘争圧殺・解体のための入会小屋撤去―立木伐採攻撃と身体をはって徹底的に闘いぬいた母の会と入会組合は意気軒昂と永続闘争を宣言した。全参加者は、この7・14を新たな出発点として、共に中曽根の軍事大国化攻撃粉碎―北富士闘争勝利まで闘いぬくことを誓いあい、成功裡に終了した。

## 闘魂不滅！ 新しい小屋を建て、 直ちに座り込みを再開

集会は正午すぎ、強い初夏の日ざしが照りつける中で、母の会・天野事務局長の「五月十七日、国家権力の暴挙により、小屋はつぶされ、木は切られたが、母の会、入会組合の身体を、心を切ることはできなかつた。七月十一日、母の会は、

このあと、大きな拍手に迎えられ三里塚反対同盟が登壇し、北原事務局長、小川嘉吉さん、市東東市さん、鈴木幸司さん、島村初枝さん、木内秀次さん、秋葉義光さんが、それぞれ母の会・入会組合と共に闘う決意を明らかにした。北原事務局長は、成田用水の七〇八月強行着工Ⅱ二期本格攻撃の激化の中で反対同盟は連日闘いに決起していることを報告するとともに、七月二日、用水決戦勝利へむけた大集会を開くことを明らかにし、大結集を訴えた。

榎丸尾に新しい小屋を立て、すわりこみを開始した。闘いに終りはない。三里塚、関西、動労千葉を始め、全国の中曽根戦争政治と対決する人々と連帯し、「勝利まで断固闘う」との力強い開会宣言で開始された。

続いて、動労千葉を代表して立った山口副委員長は、「5・17の不屈の闘いは全国の労働者の心をゆり動かすすばらしい闘いであった。この徹底・不屈の闘いこそ労働者・人民の勝利の道だ。北富士―三里塚―国鉄の闘いを結合し、中曽根の総決算攻撃を粉碎しよう」と述べ満場の拍手が送られた。

入会組合代表・天野あきのりさん、母の会・渡辺会長がそれぞれ主催者を代表してあいさつし、「どんな攻撃にも負けない、今日はすがさを新調した。このかさは十年に一回新調し、今度で五回目だ。このかさが古くなるまで、勝利するまで闘う」と北富士闘争四〇年の歴史の重みをこめ、断固たる決意を明らかにした。

このあと、母の会・入会組合の代表の決意表明が行われ、さらに忍草入会組合会長・天野重知氏より「これから本番だ。闘いは周辺に拡大している。忍草の闘いは日本の明日を左右する重大な闘いだ。必ず勝利しよう」とのアピールをうけ集会を終了した。

集会後、  
全体で富  
士吉田市  
内デモを  
貫徹した。

続く連帯のあいさつでは、東京実行委員会世話人であり、一般の東京都議選では、反戦・反中曽根を真向うからかけ、権力・革マル等の卑劣な選挙妨害をはねのけ、一万一千九十五票を獲得し、断固として闘いぬいた長谷川英憲氏、関西新空港反対全関西実行委の永井代表、婦人民主クラブ全国協議会、部落解放同盟の仲間、反戦自衛官、全通空港支部、山谷労働者を始めとする、全国で闘う数多くの労働者・農民・市民が登壇し、「北富士四〇年の不屈の闘いに学び、連帯し、共に中曽根の軍事大国化―改憲―戦争攻撃粉碎まで闘う」旨の決意を明らかにした。

三里塚反対同盟、動労千葉など  
全国の闘う勢力が総結集

